

第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和元年度実績及び効果検証

令和2年9月

福岡県新宮町

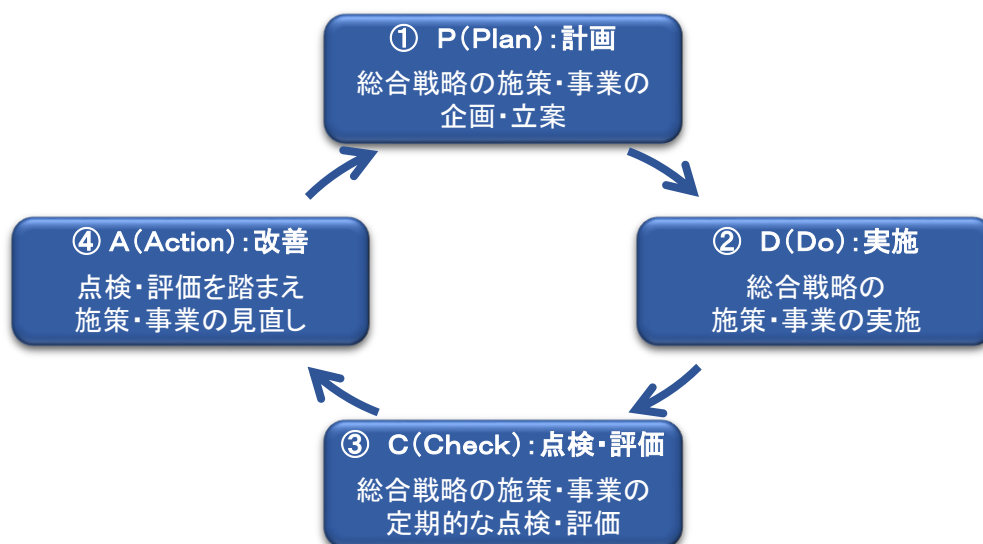
はじめに

1. 総合戦略の位置づけ

第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「新宮町総合戦略」という）は、新宮町人口ビジョンにおいて提示する将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、新宮町における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、平成27（2015）年度を初年度とする今後5か年（令和元（2019）年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

2. 施策検証について

国の総合戦略における政策4分野ごとに設定した数値目標や国の各政策分野の具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標（目標値）を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者などの参画により検証し、必要に応じて新宮町総合戦略の改訂を行うことにより、PDCAサイクルを確立し、適切な進行管理を行うこととしています。



※PDCAサイクルとは、Plan(計画)、Do(実施)、Check(点検・評価)、Action(改善)のプロセスを実施し、最後の改善(A)では評価(C)の結果から、最初の計画(P)の内容を継続・修正・破棄のいずれかにして、次回の計画(P)に結びつける。このらせん状のプロセスを繰り返すことにより、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のことである。

3. 施策評価の方法

◆評価の前提条件

総合戦略の達成状況を客観的に評価するため、数値目標および成果指標において達成度を算出し、評価ランクにより区分しました。

(1) 達成度

達成度は、目標値と令和元年度実績値を比較して次の算出式で算出するものとします。

$$\text{「達成度」} = \frac{\text{「令和元年度実績値」}}{\text{「令和元年度目標値」}} \times 100$$

(2) 評価ランク

評価ランクは、達成度に応じて下表のとおり5段階で評価を行うものとします。

評価ランク	評価基準
S	目標を上回る成果となっている。「達成度」が100を超える場合。
A	目標どおりの成果となっている。「達成度」が90以上100以下。
B	概ね目標どおりの成果となっている。「達成度」が80以上90未満。
C	目標を達成していない。「達成度」が80未満。
D	成果がない、または基準値を下回っている。「達成度」は考慮しない。

4. 基本目標ごとの施策検証

＜基本目標1＞仕事をつくり経済を活性化する

(方向性)

本町の総合戦略では、立地条件や労働力などの強みを活かし、課題を克服することにより、新たな企業誘致を推進していくとともに、既存の企業や商店のPRや育成にも取り組んでいきます。また、農林漁業については、豊かな自然資源を活かしながら新宮町ならではの支援を行うことで、地域産業の育成を図っていきます。

地域産業の育成・活性化により、町内に雇用を創出し、町外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を創り、持続可能な「まち」の活性化を図っていきます。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
町内事業所数	1,190	1,231	—	—	—	1,250	A

※総務省「経済センサス」より

平成 29、30 年度は「経済センサス」未実施のためデータなし。令和元年度は公表前につき、データなし。

参考	H26	H28	H29	H30	R1
法人税納税義務者数	982	1,065	1,115	1,155	1,187

※「市町村課税状況等の調」より

施策－1 企業誘致による雇用促進

本町の交通利便性など好立地の環境を活かした製造業、流通業務施設、商業施設などの誘致や立地を積極的に推進するとともに、誘致や立地に必要な環境づくりに努めます。

① 令和元年度取り組みの概要

福岡県企業立地課と情報共有を図り、進出希望事業者へ情報提供に努めました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
従業員 50 人以上の企業誘致数(件)	—	1	-1	4	7	6	S
9m以上の町道の整備延長(m)	—	397.5	411.5	461.5	461.5	1,160	C

※企業誘致数は、「市町村課税状況等の調 従業員数の合計が 50 人を超えるもの」より

施策－２ 農業振興による活性化

本町の特性を活かした農業環境を充実させ、農業の活性化に取り組むため、付加価値の高い特産品などの開発や頑張る農業者の育成・支援に努めます。また、荒廃農地などの利用促進を図るため、未利用農地の活用とともに、新たな担い手などの育成に努めます。さらに、これからの学校給食の実態を踏まえ、地元食材の活用などの検討に努めます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 農業振興につながる事業として、認定農業者へ経営支援などの研修会を4回行ったほか新宮小学校3年生にイチゴの定植体験を行いました。
- ・ 「実質化した人・農地プラン」策定に向けて、農家に意向調査を行い約6割の農家で後継者がいないとの回答がありました。
- ・ 普及に努めているオリーブから精製したオリーブオイルを試験的にひとまるの里で販売しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
認定農業者の人数	26	25	25	21	22	30	D
集約した農地面積 (ha)	—	—	—	—	—	10	D
ひとまるの里の売上 高(千円)	285,000	289,284	269,840	253,087	248,049	300,000	D

施策－３ 水産業の振興による活性化

漁業経営の安定化を目指しつつ、漁業者のやる気や新しい漁業へのチャレンジを促進するため、漁協や漁業従事者との検討協議を進めながら、新たな漁業や直販などを検討し進めるとともに、漁業の担い手の育成・支援にも努めていきます。また、養殖事業を促進します。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 相島の鮮魚販売を新宮漁港の「いけま売り」や「ゆめマート新宮」で継続的に実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
直販事業の回数 (回/年)	2	5	5	5	3	5	C

施策－４ 商工業の振興による活性化

本町の好立地を活かした企業の誘致や消費拡大を図るとともに、商工会との連携を図りながら、既存商店の魅力づくりや新規店舗との共存・共栄できる関係づくり、企業 PR や新規起業への支援などを検討し進めていきます。また、町内製品の PR や特産品開発を進めていきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 相島の特産品であるアコヤ貝の貝柱を使用したレトルト「あこや飯」を開発し、「町イチ！村イチ！2019」で試験販売しました。
- ・ 町内での消費活動を促進するため、プレミアム商品券に対する補助金交付事業を引き続き実施しました。
- ・ 新宮町、篠栗町、粕屋町、久山町の4町及び町商工会が実施団体となり創業塾を開催し、町内居住者2名が起業しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
ブランド開発の数	—	—	6	8	9	5	S
創業(起業)者数	—	1	1	1	3	5	C

＜基本目標２＞地域への新しいひとの流れをつくる

(方向性)

地域ごとに異なる課題に対応するため、それぞれの特性を踏まえた計画づくりを進めて、人口減少地域への定住化を図るとともに、転入者である若い世帯との交流など様々な交流の場づくりを含め、新しい人の流れを生み継続させる仕組みや環境づくりを検討し進めていきます。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
東部地域 ・相島の人口	985	947	984	988	1,000	985	S

※「住基人口(年度末)」より

参考	H26	H28	H29	H30	R1
的野(東部地域)(人)	84	80	75	72	75
立花口(東部地域)(人)	604	594	644	658	673
相島(人)	297	273	265	258	252

※「住基人口(年度末)」より

施策－１ 定住化の推進と空き家など有効利用の推進

本町では、JR 新宮中央駅周辺の住宅開発が進み、若い世代を中心に急激な人口増加が続いている一方、東部地域や相島のように人口が減少している地区もあります。このため、各地域の特性を活かしつつ、若い世代が住むことに魅力を感じる環境づくりを検討するとともに、特に人口減少のみられる地域においては、移住や定住につながるための仕組みを検討し推進していきます。また、空き家も増えてきているため、空き家や古民家の有効利用について取り組んでいきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 立花口の古民家利活用の方針を決定し、地方創生拠点整備交付金の内示を受けました。
- ・ 相島の使用されなくなった施設を活用して地域おこし協力隊がお試し居住施設「橋～KASHI～」の開設を行い、その支援を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
立花口・的野地区の新規定住世帯数	—	17	82	128	202	40	S
相島の新規定住世帯数	—	4	6	9	12	5	S
空き家バンクへの登録件数	—	—	—	—	—	10	D
古民家の利用件数	—	—	—	—	—	2	D
歩道・通学路の整備延長(m)	—	2,715	3,352	3,568	3,604	1,547	S

施策－2 交流の拠点づくりの推進

人口が減少している地域においては、観光や地域の特産品を活用するなど、地域内外の人々との交流機会を増やしていくことが重要と考えます。そのため、地域住民との協働により、交流施設の整備をはじめ地域資源の確保や人材の活用などを検討し進めていきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・九州オルレ「福岡・新宮コース」を活用し、スタンプラリーの実施や立花山日曜市・町内事業所、同じく九州オルレを実施している香春町と連携し、特産品販売などを実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
交流拠点となる施設の整備数	—	1件	1件	1件	1件	8件	C

施策－３ 観光の拠点

商工会、農協、漁協などの関係団体とおもてなし協会が連携し、新たに開発された特産品や地元製品の販売などを通して観光 PR を進めます。また、新宮町おもてなし協会が中心となり、町内の自然、文化、産業などの資源や地域で活躍する人材を活用した観光イベントなどの実施を支援していきます。さらに、周辺市町と観光情報の発信やイベントを共催し、地元企業や町内活動団体との連携による体験型のイベントを支援します。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 観光パンフレットのリニューアルや観光アクションプランの見直しを行い、観光事業の強化を図りました。
- ・ 「宗像糟屋北部地域広域連携プロジェクト推進会議（構成員：新宮町、古賀市、福津市、宗像市及び福岡県、通称：しこふむ）」において、連携して Facebook や広報誌、九州地方知事会議による情報発信を行いました。
福岡県観光連盟や福岡地区観光協議会などの連携し、情報発信を行いました。また、「ふくおか町村フェア」や「西鉄電車まつり」、「町イチ！村イチ！2019」などのイベントで観光PRを行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
広域連携によるイベント数	3	5	5	4	7	5	S
観光イベント(新宮劇場)の参加者数	213	676	854	997	1,088	1,000	S
観光(名所・旧跡)ガイドの人数	5	5	5	5	6	10	C
観光施設の設置数	—	2	2	2	2	4	C

＜基本目標3＞若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(方向性)

人口の好循環を維持していくためには、町民が、安心して結婚し、子どもを生み育てられる社会環境の醸成に取り組む必要があります。そのため、若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や、子ども・子育て支援の充実を図っていきます。また、女性が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができ、男性も積極的に家事や育児を行うことができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

数値目標	基準値 (H24)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
合計特殊 出生率	1.83	1.95	1.92	1.90	1.86	1.89	A

※福岡県保健統計年報（H24～H29）及び住民基本台帳(H30～R1）の5年平均より

施策－1 妊娠から乳児期の支援の充実

子育てに伴う精神的、経済的な負担から、妊娠を避けたり、一人っ子の家庭が増えています。妊娠から乳児期の親の負担軽減を図るため、安心して出産し、子育てができるよう、妊婦、乳児の健康状態の把握から必要な相談・指導を行うことができる体制を構築していきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・保健師や助産師による乳幼児訪問の実施や事前の電話相談を引き続き実施しました。
- ・子育てに関する情報を掲載した「子育てガイドハンドブック 2019」を発行しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
乳児家庭への 訪問率(%)	93.4	97.9	94.7	97.2	96.6	98	A
4か月児健診 の受診率(%)	95.9	100	98.3	98.3	98.2	98	S
マタニティスク ール参加者数	78	99	140	107	87	100	B

施策－２ 幼児期の子育て支援の充実

共働き世帯やひとり親家庭の増加など、新たな幼児教育・保育ニーズに的確に対応するとともに、就学前の子どもたちの健やかな成長と良好な子育て環境を充実していきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 令和元年 10 月から幼児教育・保育の無償化が実施され、保育ニーズの高まりから待機児童数が増加しました。
- ・ 各種イベントを開催したことにより、かんがる一広場の利用者が増えました。
- ・ ファミリーサポートの会員数増加は、「お願い会員」が増えたことによるもので、育児等の援助を受けたい人が多かったことによるものです。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
待機児童数	45	15	36	24	43	0	C
かんがる一広場の利用者数	6,445	8,550	13,910	8,521	14,289	8,000	S
ファミリーサポートの会員数	—	225	259	260	329	300	S
地域子育てサロン実施箇所数	7	10	7	7	7	12	C

施策－３ 義務教育期間の子育て支援の充実

教育・学童保育に関する保護者のニーズを的確に把握しながら、教育・学童保育環境を向上させていくとともに、子育てに関する情報共有や悩みを解決するため、地域での子育てを支援します。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 平成 31 年 4 月に開校した新宮東中学校の実施体制を整え、コミュニティ・スクールに指定しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
学童保育所 (放課後児童 クラブ)数	6	9	9	10	10	9	S
通学合宿の実 施箇所数	4	7	7	6	6	7	A
夏休み地域 寺子屋事業の 実施箇所数	10	15	19	19	17	15	S
コミュニティ・ スクールの数	5	5	6	6	7	6	S

施策－４ 男女がともに参画し、支えあう環境づくり

企業や事業所への育児休業や介護休業の取得しやすい職場づくりを目指し、ワーク・ライフ・バランスの促進に向けた啓発活動を進めていきます。

また、女性が仕事と家庭の両立ができるよう、男性への家庭責任の意識向上を図るとともに、積極的な育児参加への取組を促進します。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 男女共同参画関連事業のチラシなどを庁舎に配架するなど情報提供に努めました。
- ・ 新宮町企業内人権・同和問題研修推進会議に参加した事業所に男女共同参画のパンフレットを配布し、啓発に努めました。
- ・ まつり新宮で男女共同に関するパネル「男女共同参画に関する意識調査からわかること」を展示し、啓発物資の配布を行いました。
- ・ 広報誌アクティブ新宮 2019年6月号に、第2次新宮町男女共同参画基本計画概要版を折込み、特集『「第2次男女共同参画」がスタート!』とし、町民意識調査からわかる町の現状等の紹介を掲載しました。
- ・ 町職員向けの人権・同和問題研修会において、「ハラスメントの防止と対策について」をテーマとした研修を実施しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
町広報誌・町ホームページへの掲載回数	—	2	2	3	2	2	A
講演会などの実施回数	—	—	—	—	1	1	A
パパママ教室の参加者数(人)	84	78	70	101	73	120	D

＜基本目標４＞時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

（方向性）

急速な人口増加により、都市構造が大幅に変化している中で、各地域の実情に即した新しいコミュニティづくりを進めていくとともに、人口減少が進む地域においては、地域振興策の推進により、地域の魅力を高めていくことで、町民が将来にわたって安全・安心で豊かな生活を営むことができる町を構築していきます。

数値目標	基準値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
自治会加入世帯率(%)	85.6	83.3	87.7	82.0	80.4	90	D

※自治会調査及び年度末行政区世帯数より

施策－１ 地域振興策の推進

地域住民との協働により策定した将来構想や個別の課題に基づき、ルールづくりや具体的な振興策の検討を進め計画的に事業を推進していきます。特に地域住民の理解や協力が不可欠なことから、今後も住民との懇談・協議を継続し地域の合意形成を高めるとともに、大学などとの連携により可能な取り組みから進めていきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・九州産業大学から立花口古民家の利活用に関する提案を受け、改修計画を策定しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
東部地域の交流拠点の整備数	—	—	—	—	—	4	D
相島振興に係る交流拠点整備数	—	1	1	1	1	2	D
相島への来島者数	63,000	65,000	77,000	89,000	94,000	66,000	S

施策－２ コミュニティの振興

今後のまちづくりを進めるにあたり、新興住宅地区や高齢化が進む地区など地域の特性を踏まえたコミュニティのあり方について検討し取り組んでいきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 協働のまちづくり研修やまちづくり活動支援事業説明会、新宮町役場ホームページを通じて、団体の活動をアピールしました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
地域コミュニティ活動(夏休み地域寺子屋事業、通学合宿など)への支援者数	150	614	1,192	717	693	200	S

施策－３ 防災・防犯対策の充実

近年の局地的集中豪雨など大規模な自然災害の発生を踏まえ、災害に強いまちづくりを行うため、地域防災計画や防災マップ(ハザードマップ)を適宜見直し、住民の安全確保や支援に取り組んでいきます。また、定期的な防災訓練や防犯活動などを支援するとともに、防災・防犯に対応する体制づくりや施設の整備・改修を計画的に実施していきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 防災専門官による防災の専門講座を通じて、自主防災組織の設立の啓発や活動支援を実施しました。
- ・ 防災拠点として整備した「新宮ふれあいの丘公園」及び隣接する新宮東中学校において、町内全域を対象とした防災訓練を行いました。
- ・ 避難行動要支援者名簿に登載者のうち、避難支援を希望し、情報提供に同意する 684 人を「避難支援リスト」に掲載し、避難支援等関係者に事前の情報提供を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
自主防災組織の数	3	6	7	7	6	10	C
防災訓練の参加者数	200	370	592	65	714	1,000	C
災害時備蓄物資の量(人分)	75	225	300	375	450	450	A
自主防犯団体の組織数	4	4	4	3	6	6	A
既設防犯灯の LED への更新数	90	164	370	535	747	850	B

施策－４ 自然環境の保全

地域住民、関係団体、行政などの協働による保全活動を積極的に推進していくとともに、自然環境を活用した環境整備を検討し推進します。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・ 下府 1 区、下府 2 区、桜山手区、湊坂区、パークシティ区の住民と協働で人丸公園美化活動を年間 4 回実施しました。
- ・ 松林の保全活動を、隣接する行政区の住民や中高生、町議会議員、町役場職員などで年間 6 回実施しました。
- ・ 福岡県森林環境税事業（荒廃森林の整備）により、山林所有者と協定を締結した森林に対して整備を行いました。また、調査未実施の森林については、荒廃森林の調査を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
新宮海岸クリーン作戦参加者数	900	1,200	1,200	1,200	1,000	1,300	C
松林ボランティア活動参加者数	100	70	120	833	752	200	S
立花山ボランティア活動参加者数	40	34	18	24	15	100	D
森林ボランティア人数	—	30	27	28	49	40	S

施策－５ コミュニティバスの充実

地域住民のニーズを踏まえながら、路線などの見直しを行うとともに、安定した経営を行うため、乗降客の増加などにつながるような対策を進めていきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・社内表示やアナウンスを多言語化し、海外からの観光客に対応しました。
- ・新宮オルレや立花山登山客による効果で、山らいず線の利用者が増加しました。
- ・渡船の運航時刻変更に伴い、コミュニティバスの運行時刻を変更しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
コミュニティバス利用者数(万人)	19.6	19.6	21.6	23.5	24	20.0	S

施策－６ 渡船の充実

利用者のニーズを踏まえながら、運航時刻などの見直しを行うとともに、安全な運航を最優先に進めていきます。

① 令和元年度取り組みの概要

- ・運航時刻について、10月から4月から9月までの1日6往復ある夏時刻を3月から11月までに変更し、利便性の向上を図りました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)	評価
渡船の利用者数(万人)	10.5	12.8	15.3	17.8	18.8	11.0	S

5. 効果検証について

第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、令和42(2060)年に人口32,000人を確保することを目標として、国の総合戦略における政策4分野ごとに基本目標を設定し、計画期間中に達成すべき成果を数値目標として設定しました。また、基本目標を達成するための具体的施策に対しては、事業の進捗を図る指標として成果指標を設定し、事業実施の状況と目標達成のための手段の改善について検証してきました。

人口ビジョンの進捗状況及び総合戦略の達成状況

◆人口ビジョンの進捗状況

	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上	合計
実績値 (構成割合)	6,910人 (20.6%)	20,540人 (61.2%)	6,103人 (18.2%)	33,553人
人口ビジョン (構成割合)	7,070人 (21.2%)	20,237人 (60.8%)	5,973人 (17.9%)	33,280人

平成27(2015)年度を始期とする第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口ビジョンでは、最終年度であります令和2年3月末日の人口を33,280人と推計しておりましたが、実績として33,553人と推計よりも273人増加しました。

出生や死亡による自然増減では、5年間で968人の増加を見込んでおりましたが、住民記録の異動では953人と見込みより15人減少となっております。内訳では、増加要因である出生数が1,977人の見込みのところ1,925人(▲52人)に、減少要因である死亡数は1,009人の見込みが972人(+37人)となっており、少子化と高齢化が人口ビジョンよりも進んでいる状況となっております。

また、転入や転出による社会増減では、2,191人の見込みが2,479人と288人の増加しており、転入増加が継続しています。

◆基本目標の達成状況

<基本目標1>仕事をつくり経済を活性化する

数値目標：令和元年度の町内事業所数 1,250事業所

(参考：平成27年度から令和元年度までの増加率 5.0%)

達成状況：1,231人(平成28年度)

(参考)令和元年度の法人税納税義務者数 1,187

平成27年度から令和元年度までの増加率 20.9%

評価ランク
A

＜基本目標 2＞地域へ新しいひとの流れをつくる

数値目標：令和元年度の東部地域・相島の人口 985 人

達成状況：1,000 人

評価ランク
S

＜基本目標 3＞若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標：令和元年度の合計特殊出生率 1.89

達成状況：1.87

評価ランク
A

＜基本目標 4＞時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

数値目標：令和元年度の自治会加入率 90%

達成状況：80.4%

評価ランク
D

町内事業所数は、令和元年度調査の経済センサス基礎調査結果資料が未公表（令和 2 年 7 月現在）であるため達成状況は、最新値であります平成 28 年度実績を基に評価しております。参考数値の法人税納税義務者数も計画期間中に約 21%増加していることから、目標は達成していると見込まれます。町内事業所では、国道 3 号や 4 9 5 号沿線に飲食店や小売業、物流など多様な事業所が進出してきています。

また、東部地域・相島人口は、立花口地区の開発に伴い目標を上回っていますが、的野地区及び相島地区では依然として人口は減少傾向であることから、移住定住の取り組みの更なる進展が必要です。他方で、相島地区は来島者の増大により唯一の交通機関である渡船への乗船にも影響が生じていることから、移住定住に繋がる交流人口の確保という観点では、オーバーツーリズム対策が必要となっています。

合計特殊出生率は、目標達成しておりますが、やや減少傾向となっております。具体的な施策の成果指標達成状況は、70%以上の指標で達成していることから、合計特殊出生率と基本目標 3 の具体的な施策にミスマッチが生じつつあると考えられます。自治会加入率もほぼ横ばい状態であり、各施策の実施でも自治会加入を促進することができていないことから、自治会加入に向けた具体的な取り組みが必要となっています。

◆具体的な施策の成果指標の達成状況

基本目標	成果指標達成状況				
	S	A	B	C	D
基本目標1 仕事をつくり経済を活性化する	2/8	0/8	0/8	3/8	3/8
基本目標2 地域への新しいひとの流れをつくる	5/10	0/10	0/10	3/10	2/10
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を かなえる	5/14	5/14	1/14	2/14	1/14
基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らし を守るとともに、地域と地域を連携する	6/15	2/15	1/15	3/15	3/15
合計	18/47	7/47	2/47	11/47	9/47

第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略において設定した全47の成果指標のうち、目標以上のものは25と過半数もの具体的施策において達成しています。しかし、評価の大半が効果の上がない分野があったり、評価が高い指標の中には早期に目標を達成したりしているものもあることから、第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理では、適宜、成果指標の適正な水準への見直しや取り組みの検証を行う必要があると思われれます。

6. 地方創生推進交付金事業（令和元年度実績）

相島の小さな拠点づくりからはじまる持続可能なまちづくりプロジェクト

【事業期間】

平成30年9月～令和3年3月

【事業費】

令和元年度実績額：5,860千円（うち交付金充当額：2,930千円）

【事業の内容】

平成30年3月に策定した相島活性化プランに基づき、その実現に向けて優先する取組・重要な取組を選定し、実効性のある組織体制に見直したうえで、島民と関係団体とで様々な活動を行った。

事業名	主な内容
観光振興 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・猫のフン対策としての猫用のトイレの増設（現在5台）・BBQ禁止等の看板の設置・島での過ごし方や協議会の取組を紹介する冊子の更新（英語版）・漂着物を来島者に拾ってもらう「漂着ゴミキット」の試験販売・どこから来島しているか把握する調査地図の設置（新宮待合所）・相島応援募金の継続（現在12万円程）
移住促進 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・空き家対策について考える冊子を島内全戸に配布・空き家バンクへの物件登録（現在5件準備中）・移住のきっかけをつくるお試し宿泊施設の開設（檣-KASHI）・農家民泊の先進地（安心院町）視察・相島HP「相島.net」（http://aino-shima.net）の更新（一部英語）
漁師を中心 とした振興 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・いけま売りの継続開催、運営方法の改善・後継者づくりの為に地域おこし協力隊募集・外部への販売の仕組みの協議検証
特産・名産開発 プロジェクト	<ul style="list-style-type: none">・相島の商品を紹介する商品概要書の作成・水引の制作に向けた勉強会の開催

<p>購買店 リニューアル プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・購買店フェアを開催しラブコロ等の試験販売 ・追加の修繕（ブラインド、穴補修等）
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁村留学（小学校13名／中学校3名を受入） ・「漁村留学を支える会」の発足 ・渡船運航時間の見直し（夏時間の期間延長） ・猫の餌やり等に関するルールの検討 ・ラブコロ、かまぼこのリニューアル（来島者にも売れる商品に）

【重要業績評価指標(KPI)】

	初期値 (H30.3)	目標値		実績値
新規移住世帯数(世帯)	0世帯	平成30年度増加分(1年目)	0世帯	0世帯
		令和元年度増加分(2年目)	2世帯	2世帯
		令和2年度増加分(3年目)	2世帯	—
「仕事」づくり事業における年間売上高(直売事業+特産品・ご当地メニュー+新たな観光産業+ソーシャルビジネスなど)	9,290,000円	平成30年度増加分(1年目)	300,000円	5,106,000円
		令和元年度増加分(2年目)	300,000円	5,645,128円
		令和2年度増加分(3年目)	300,000円	—
「仕事」づくり事業における新規雇用者数	0人	平成30年度増加分(1年目)	0人	0人
		令和元年度増加分(2年目)	2人	2人
		令和2年度増加分(3年目)	2人	—
「資金」づくり事業における年間収入額	0円	平成30年度増加分(1年目)	100,000円	20,000円
		令和元年度増加分(2年目)	100,000円	71,530円
		令和2年度増加分(3年目)	100,000円	—

【評価および今後の方針】

新規移住者の獲得については、相島空き家バンクや空き家を一部改修して令和元年度に開設したお試し居住施設「檣-KASHI」を活用しながら移住の促進を図るとともに、移住に関する助成金や島内アパートの実現可能性を検討しつつ、移住者の募集に関する広報、宣

伝活動を実施していく。

仕事づくり事業に関しては、好評であるいけま売りや瓶うに等の直売事業による売上増加もあり、協議会の指標とする全体の売上高は増加となっているが、今後も引き続き販路拡大を含めた事業の拡大と充実を図っていく。また、特産品として販売を開始した水引商品の売上増加に向け、商品生産の安定化、PRに向けた取組を実施していく。

相島における雇用創出については、漁業後継者の育成や店舗・企業の新規進出の促進を図っていくとともに、移住を見据えた島での新たな産業づくりについても検討していく。

相島の活性化に向けた活動資金とするための相島応援募金の拡充を図るため、相島 HP や SNS を活用しながら、来島者・島外者に対して島の魅力をより知っていただくための情報発信に取り組んでいく。

7. 新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会における評価

第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口対策施策としては、総人口及び生産年齢人口が増加していることから、地域の魅力づくりや子育て環境の充実などが一定の効果を挙げていると認めます。

個別基本目標及び具体的な施策においては、実績値が目標値に達しているものが多数を占めていますが、評価方法の検討が必要なものが散見されます。

また、低評価の基本目標等については、目標設定の政策的意義や施策の取り組みについて内容を明らかにする必要があると思われまます。

地方創生交付金事業については、令和2年度が事業最終年度であることを鑑み、相島の活性化に資する事業が次年度以降も持続的に行えるよう、取り組みを検討することを希望します。

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略における事業の実施に際しては、第1期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績に対する意見を踏まえ、成果指標等と事業の関連に注視しながら、適切な事業の実施及び評価に努められるよう希望します。